

令和6年度 大館市立早口小学校 学校評価書(前期)・ 年度)

A 学校教育目標

未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成

B 本年度の重点

人皆に美しき種子あり「TANEPRO CHALLENGE！」
～「おおだて型学力」を育てる「自尊・自立・貢献」のふるさとキャリア教育～

めざす学校の姿

- ☆楽しく学び、達成感や自己有用感を抱く学校（子ども）
- ☆経営方針や様子が分かり、信頼できる学校（保護者）
- ☆子どもの元気が届き、応援したくなる学校（地域）
- ☆学び合い、高め合い、力を発揮できる学校（職員）

めざす子どもの姿

- は：はつらつと伝え合う子ども
- や：やさしく親切な子ども
- ぐ：くじけずに取り組む子ども
- ち：ちいぎを愛する子ども

経営の重点

人皆に美しき種子あり「TANEPRO CHALLENGE！」

～「おおだて型学力」を育てる「自尊・自立・貢献」のふるさとキャリア教育～

重点1 学力の定着と向上

- 基本的学習習慣、学習規律の確立
- 意欲を高め、子どもが活躍する授業の推進
- 確かな学力の向上と共感的・協働的学び合いの推進
- 早小デザインラーニングを基盤とする学習環境の充実

重点2 豊かな心の育成

- 元氣なあいさつと返事の奨励
- 何でも言い合える学級づくり
- 安心・安全でみんなが気持ちのよい学校づくり（ありがとうの伝え合い）
- 道徳科・道徳教育の充実
- 思いやりの心を育む特別活動の推進



キーワードは…

早小フライド

自尊・自立・貢献



重点3 健康教育の充実

- 基本的生活習慣の定着
- 健康・安全教育の充実
- メディアコントロールの啓蒙
- 体力テストの結果を生かした体力づくり
- 食育・保健教育の充実

重点4 家庭・地域との連携

- ふるさとキャリア教育の一層の充実
- 「早口川の徒渡り」の確かな継承
- 地域素材・人材を活用した多様な体験活動の展開
- ふるさと早口を愛する心、感謝の心、地域貢献しようとする態度の育成

めざす教師の姿

- 愛情と情熱をもち、子どもとともに歩む教師
- 自ら研修に励み、学び続ける教師
- 家庭や地域と連携し、信頼される教師

子どもを支える地域・家庭

- 自己有用感を育む温かい地域・家庭
- 安全・安心に過ごせる地域・家庭
- 子どもの夢を大切に育む地域・家庭

教師集団
(チーム早小)

情報発信・情報共有、協力・連携、提言

学校運営協議会



運動会での遊競技「年貢 for You」



保小交流サツマイモの苗植え



32回目の「早口川の徒渡り」

学校評価A と学校関係 者評価の評 価区分	きわめて良好	学校評価Bの 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

ア 児童の状況

I 自主的・自立的な生活							
児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント			
明るく心のこもった挨拶をし、規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感を育もうとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	基本的な生活習慣の個人差が出ている。改善に向けての取組がなされているほか、メディアコントロールに関してはPTAでの講演も準備されている。日常的な習慣を大事にして向上を図ってほしい。			
	年度						
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】〇学年ごとに取り組んだ「学年あいさつ運動」、はつらつチームごとに取り組んだ「あいさつもらい隊」等、児童会の活動を軸に、あいさつと言葉遣いについて取り組んだ。また、小中連携あいさつ運動を実施し、中学生と交流したことが互いにより刺激となった。→活動中は自発的なあいさつを意識できたが、校外や活動時以外の場における習慣化に課題が見られる。手本となるあいさつを全体で共有し、日常的な指導を継続しながら意識向上を図る。 〇小中連携自立プランについてPTAで話題に取り上げ、家庭との共通理解を図った。また、自己肯定感を高められる取組となるよう、今年度は振り返りと自己評価の仕方を見直した。→学校と家庭の両方で働きかけながら、基本的な生活習慣の形成を図る。 〇交通安全や学校生活の約束では、危険な場合はその都度伝え、適時に登下校指導等を行い、注意喚起した。→「早小7ルール」の意識付けと、実態に応じて適時にルールを確認していく。 〇なかよし班で、掃除・体力テスト・なかよし班遊び等を通して他学年との交流を深めた。また、元気農園活動では、異学年ペアとなり協力して取り組んだ。→今後も高学年を中心に、他学年と交流できる場を設定していく。 〇児童総会に向けて、各学級で、「様々なロス削減活動」「メディアコントロールに関わる活動」について話し合い、当日は新たに考えた意見の交流も行った。→決定した取り組みについて児童会便りで報告し、実践していく。						
	【年度(一次年度)】						
評価指標		実践課題		主な取組		学校評価B	
						前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1)	正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化	学校内外での明るいあいさつ 小中連携あいさつ運動 正しい言葉遣いの指導	3			
	(2)	自立に向けた基本的な生活習慣の形成	小中連携自立プランの活用と定着 家族の一員としての自主的な手伝い習慣の奨励	3			
	(3)	生活の約束を守る姿勢・態度の定着	児童主体の早小7(セブン)ルールの実践 生徒指導だよりの発行	3			
2 集団生活・集団活動	(4)	自主的・実践的な態度を育てる特別活動	学校行事・元気農園活動・児童会活動・集会活動等への自主的・積極的な参画と運営 異学年同士で認め合い協力し合う	4			
	(5)	明るさとやる気に満ちた学級集団の形成	学級活動の充実 主体的な係・当番活動への取組 学級会の主体的な話し合い活動	4			

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

[1基本的な生活習慣に関するデータ]

(1)正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化

- 〇進んで元気にあいさつしている。
☐本校の子どもたちは自分から元気にあいさつができていますか。
☒学校内外での明るいあいさつ、正しい言葉遣いができていますか。

(2)自立に向けた基本的な生活習慣の形成

- 〇学校の準備などを自分でしている。
☐自分で学習の準備をしたり家のお手伝いをしたりしているか。
☒自立に向けた基本的な生活習慣ができていますか。

(3)生活の約束を守る姿勢・態度の定着

- 〇交通安全のルールや学校、家の約束を守って生活しているか。
☐交通ルールや学校、家庭の約束を守っているか。
☒生活の約束を守る姿や態度が定着しているか。

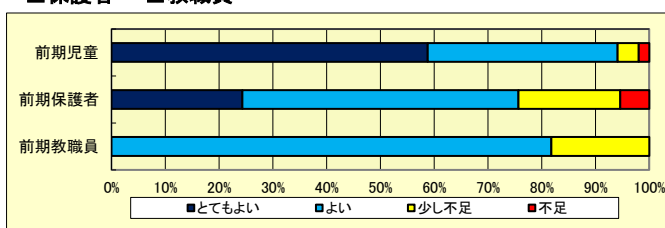


★小中連携あいさつ運動
朝の登校時、あいさつのポイントをカードで示しながら、早口小学区の中学生とあいさつ運動を行った。

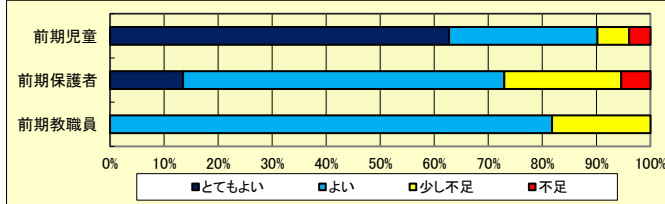


★交通安全指導
実際に道路に出て歩き、登下校の仕方を確認した。

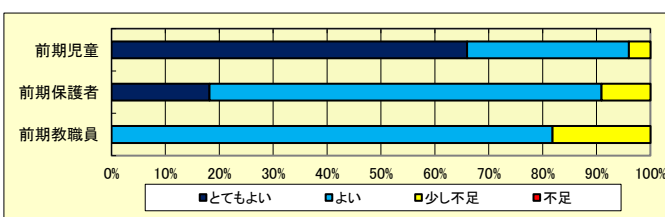
(1)



(2)



(3)



[2集団生活・集団活動に関するデータ]

(4)自主的・実践的な態度を育てる特別活動

- 〇学級の行事や委員会活動、チーム活動、なかよし班でのそうじなどに進んで取り組んでいる。
☐行事や児童会活動、はつらつチーム活動等は主体性や実行力を育んでいるか。
☒自主的・実践的な態度を育てる特別活動となっているか。

(5)明るさとやる気に満ちた学級集団の形成

- 〇学級の係や当番活動、学級会の話し合いに進んで取り組んでいる。
☐係や当番活動、学級会が工夫され主体的に取り組んでいるか。
☒学級の係・当番活動、学級会の主体的な話し合い活動ができていますか。

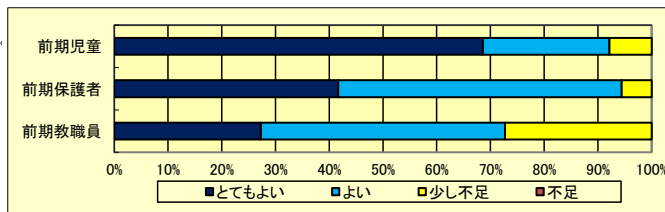


★さつまいもの苗植え
はつらつ元気農園活動の一環として、5年生が中心となり、さつまいもの苗植えを実施。

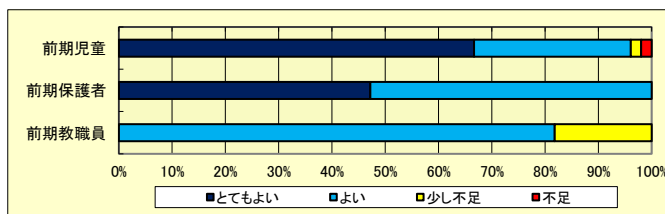


★児童総会
大館子どもサミットで提案された、「様々なロス削減活動」「メディアコントロールに関わる活動」について意見交流。

(4)



(5)



ア 児童の状況

Ⅱ 豊かな心			
児童生徒の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
自分らしさを発揮しながら、夢の実現に向かって努力する、豊かな人間性を育てている。	前期 おおむね 良好	良好	個性に応じた指導が配慮されて行われており、一人一人のよさを認めている関係性が成立している。豊かな体験活動もその土台を支え、活躍の場を確保している。
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】○徒渡りや元気農園等において、異学年交流や地域の人材を生かした活動に取り組んだ。活動を通し、互いのよさや頑張りを認めたり、地域への誇りと感謝の思いを実感したりする様子が見られた。道徳の学習においては、自分との関わりとして考えられるよう、行事や日常生活の場面を想起しながら課題を設定した。また、学校行事等のねらいに道徳の価値項目を明記し、教員間で意識付けを図った。→相手意識をもち、その場に応じた正しい言葉遣いができるよう引き続き指導し、より一層思いやりの心を育てていきたい。 ○週1回の子どもの語る会や月1回の教育相談を通し、児童の実態把握に努めた。また、各学級でよさや頑張りを伝え合う場を設けた。→情報を共有しながら児童の実態把握に努め、所属意識が高まるような学級活動を工夫していく。 ○温かい雰囲気や異学年交流を進めていけるよう、なかよし班顔合わせ後、班のメンバー全員で遊ぶ時間を設けた。高学年が企画・運営し、リーダーシップをとりながら異学年で楽しく交流した。「美しき種子」活動では、地域の方々に関わりながら活動するとともに、徒渡りについて他校へPR活動を行ったり、学んだことを発信したり、自分の役割を自覚しながら一人一役で活動に取り組んだ。→今後も自己有用感を実感できるよう、活動の目標と目的意識をもって取り組めるような場の設定をしていく。 【年度(一次年度)】		

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心の育成	(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動	ふるさとに広げる「美しき種子」活動(徒渡り・元気農園・はつらつ弁当) 道徳と日常活動との関わり	4	
4 豊かな体験活動	(7) 自他のよさを認め合う学級づくり	学級目標の実現 認め合う学級活動 心の居場所づくり 生徒指導の機能を生かした授業 いじめアンケート・児童理解の会の活用 教育相談日の充実	3	
	(8) 一人一人のよさの発揮と自己有用感の育成	学年のよさを生かすなかよし班活動 主体的な集会活動 交流活動の充実「美しき種子」活動(元気農園・徒渡り等)を通じた地域貢献	4	

★実践事項 ○児童 □保護者 ■教職員

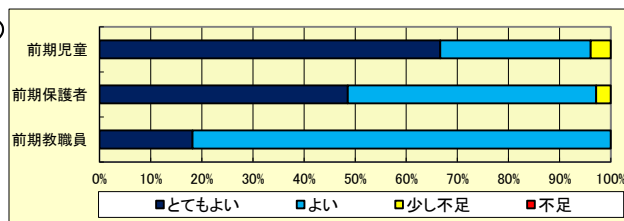
[3に関するデータ]

(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動

- 道徳の時間には自分の行動や生活を振り返って考えたり、友達の気持ちを考えたりしている。
- はつらつ元気農園や縦割り活動、道徳教育などで、子どもたちに豊かな心を育てていると思うか。
- 道徳教育、縦割り活動、「美しき種子」活動などで思いやりの心を育てているか。



(6)



★ふるさと元気農園活動

はつらつチームごとにペアを組み、農園活動に取り組んだ。サツマイモの苗植えでは、地域の方々やたしろ保育園の園児と一緒に活動した。

★道徳コーナーの活用

授業の足跡として、また、参考になった友達の考えや振り返りを共有する場として各学級にコーナーを設けた。

[4に関するデータ]

(7) 自他のよさを認め合う学級づくり

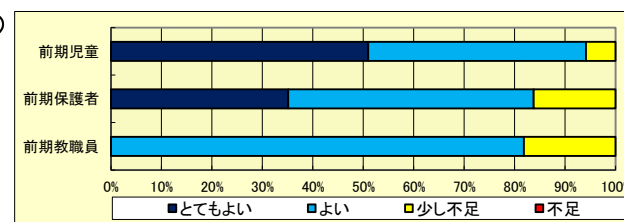
- 友達のよいところを見つけたり、紹介したりしている。
- 学校では子ども一人一人を大切にしてお互いのよさを認め合う学級づくりを行っていると思うか。
- 学級目標を実現する心の居場所作り・学級活動・生徒指導の機能を生かした授業・児童理解ができているか。

(8) 一人一人のよさの発揮・自己有用感の育成

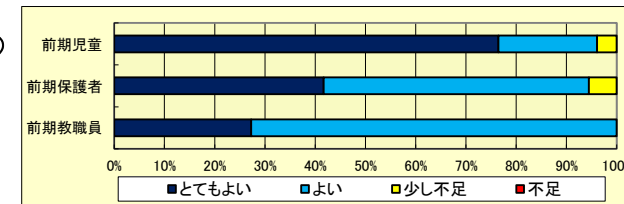
- 元気農園活動や徒渡りなどのふるさとキャリア教育で自分の種を育てようががんばっている。
- はつらつチームやなかよし班や集会活動、はつらつ元気農園、徒渡りなどを通して、子どもたち一人一人がよさを発揮し自分を大切にすることを育てていると思うか。
- なかよし班、はつらつチーム、「美しき種子活動」などの交流・貢献活動によって、子どもたち一人一人が自己のよさを発揮し、自己有用感を高めているか。



(7)



(8)



★徒渡り学習会

地域の方々にゲストティーチャーを迎え、徒渡りの歴史や学校行事として始めた当時の様子について話を聞き、関わった人々の苦労や、思いを知ることができた。

★徒渡りPR活動

山瀬小や田代中に出向き、徒渡りについてのPR活動を行った。徒渡り当日は、他校の児童・生徒の参加もあった。

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
健康や体力に関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	新体カテストの課題を活かし、業間マラソンは効果を期待したい。保護者とメディアコントロールによる睡眠の質の向上の必要性を共有して取り組み、日常生活への効果を期待したい。
改学 善校 策評 価の 概要 と学 校の	年度		

【前期(一年度)】○学校歯科医による歯の健康教室、1年生保護者の試食会及び児童の食育授業をし、健康についての意識が高まった。
→9月のメディアコントロール週間では、委員会活動による全校への呼びかけや、実態調査結果を活用した保護者への働きかけを行っていく。PTA授業参観では、メディアについての研修会を実施予定。
○わくわくマラソンを週2回中休みに実施。記録カードに、運動会の結果と秋のマラソン記録会の目標・結果を記入する欄を作ったり、周回数に応じて県内の各地を旅する仕様にしたりしたことにより、児童の体力向上や運動意識の高まりが見られた。
→体力テストにおける持久力の高まりを提示しながら、さらに子どもたちの意欲を高め、秋のマラソン記録会の記録向上に繋げる。
○昨年度の新体カテストの結果を補強運動や体育の指導に生かすことができなかった。
→結果を分析し、本校の児童が苦手な運動領域の改善に向けた実践を提示していく。

【年度(一次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度
5 健康教育	(9) 望ましい食習慣と健康教育	生活実態調査による実態把握 メディアコントロールカード・食育指導の充実 保健だよりの発行など保護者への啓発	3
6 体力の向上	(10) 業間運動への積極的な取組	わくわくマラソン・縄跳び 外遊びの奨励 徒競走・持久走記録会の実施	4
	(11) 新体カテスト結果の活用	昨年度結果の活用 体育学習での補強・準備運動	3

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

〔5 健康教育に関するデータ〕

(9) 望ましい食習慣と健康教育

- 歯磨きやメディアコントロールなどへの取組をすすんでがんばっている。
- 保健だよりの発行やむし歯予防・食育などの指導、メディアコントロールカードなどの実施は健康習慣への関心を高めているか。
- 生活実態調査による実態把握、むし歯予防指導、保健だよりを通して児童の食習慣と健康習慣が改善されているか。

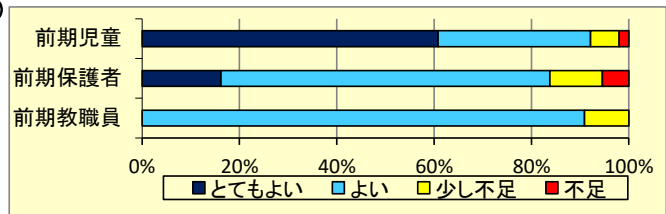
★学校歯科医による歯の健康教室

低学年は「むし歯のでき方」、高学年は「歯肉炎」について学び、歯科医より一人一人歯みがき指導をしていただいた。

★栄養教諭による1・2年生の食育授業

給食を通して、食の赤・黄・緑の動きについて学び、1年保護者にも参観してもらった。

(9)

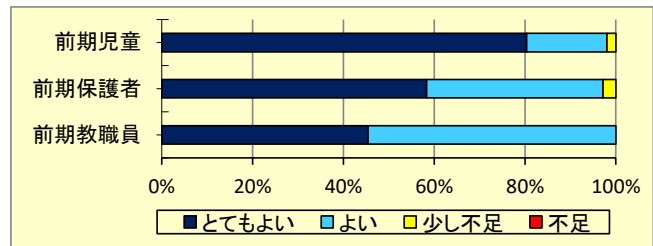


〔6 体力の向上に関するデータ〕

(10) 業間運動への取組

- わくわくマラソンなどの体力づくりに取り組んだり、外で遊んだりしている。
- わくわくタイムのマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てているか。
- わくわくマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励、持久走記録会の実施により児童の体力が向上しているか。

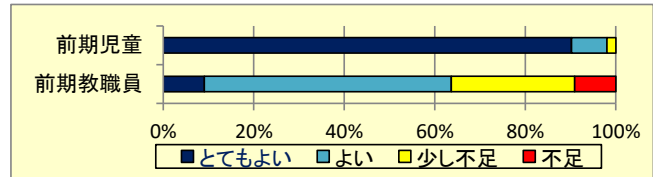
(10)



(11) 体力テストの結果の向上と活用

- 体育の時間には、自分が苦手な運動にもがんばって挑戦している。
- 体力テスト結果の分析・活用、体育授業での取組が体力向上につながっている。

(11)



★ わくわくマラソン
中休みに週2回実施。
全学年一斉に行った。



★ 新体カテスト
縦割り班の班長を中心に、
全校一斉に実施。

ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力				
児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に学習に取り組 み、基本的学習習慣を 身に付けながら学力を 向上させようとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	子どもは自己評価が高いが、保護者や教職員の評価と差がある。日常の取組で、どのような改善 ができるのか検証やPTAでの話題にしたい。花マルDAYでの自分の言葉で表現をする場を設けて いるという取組は、今後も続けて主体的に表現する力を育成してほしい。
	年度			
策 学 校 評 価 の 概 要 と 学 校 の 改 善	【前期→(年度)】○「学びのルール定着」を月目標に設定し、職員が共通理解して指導を進めたことで、児童の意識を高めることができた。→職員や児童が声を掛け合っ て、ルールを守ることの徹底を図りたい。 ○自学ノートと宿題を併用して指導し、花マルDAYでも家庭学習の意欲を高めたが、学習時間や学習内容に個人差が大きい。→家庭での時間の使い方を改善し、家庭 学習の質・量面での向上を図りたい。家庭学習のよい例を他の児童や保護者に紹介して児童の意欲を高めたりやり方を教えたりする実践を継続したい。 ○図書委員会の活動や呼びかけにより、読書への興味を高めたり、図書室利用者を増やしたりすることができた。家庭での読書週間を身につけることが課題である。→ 図書室利用を更に推進し、教科指導と関連付けた読書活動の充実も図りたい。保護者にも家庭で読書する時間を設けるなどの啓蒙を行う。 ○学び合いや深め合いを目的とした「はつらつタイム」を設定し、児童の実態に合わせた形態を工夫することで、友達と共に課題解決に向かおうとする姿が見られた。→ 友達と学び合ったことが、個々の力となっているかを確認、児童一人一人の学力向上を図ってきたい。 ○全国学力・学習状況調査は、国語は全国平均を上回ったが県平均を下回り、算数は全国平均も県平均も下回った。→詳しく分析を行い、しっかりと回復指導をしてい く。個人差が大きいので、個に応じた指導にも更に力を入れていきたい。			
	【年度→(次年度)】			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B
				前期 年度
7 学習への 取組	(12) 基本的学習習慣の定着		早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花まる DAYの継続	4
	(13) 基礎・基本の確かな定着		はつらつタイム・学び合う場の設定 パワーアップタイム等 の継続実施 家庭学習の充実	3
	(14) 表現力を高める読書活動の充実		読書意欲を高める読書指導・読書運動 学年おすすめの 本の活用 親子読書の奨励	3
8 授業改善と 学力向上	(15) 授業力向上の職員研修		課題解決に向かう授業改善 共感的・協働的学び合い学 習の推進 学び合う教職員	3
	(16) 諸検査の状況		全国学テ・県学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3
★実践事項 ○児童 □保護者 ■職員				
【7 学習への取組】 (12)				
(12) 基本的学習習慣の定着				
○ ハンドサインや話型、学習用具の整頓やノートの使い方などの約束を 守って学習している。				
□ 「早小っ子学びのルール」や家庭学習カードの活用、家庭学習名人コー ナー、花マルDAYなどの実施は家庭学習習慣を身に付ける上で有効だ と思うか。				
■ 早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花まるDAYの継続 が学習習慣の定着に結びついているか。				
(13) 基礎基本の確かな定着 (13)				
○ 家庭学習や授業中の練習問題などにがんばって取り組んでいる。				
□ ペア・グループを活用した学び合いやパワーアップタイム、家庭学習強 調週間の実施は、子どもたちの基礎的な学習の定着につながっている と思うか。				
■ はつらつとタイム学び合う場の設定・パワーアップタイム等の継続実施 により子どもの学力が定着しているか。				
(14) 表現力を高める読書活動 (14)				
○ 読書タイムに静かに読書したり家で学校から借りた本や家にある本を 読んでいたりしている。				
□ 朝読書や読み聞かせ会、読書環境の整備、親子読書の奨励によって読 書への関心が高まっていると思うか。				
■ 読書、読み聞かせ、親子読書により表現力を高めているか。				
【8 授業改善と学力向上】 (15)				
(15) 授業力向上研修・学び合いの充実 (15)				
○ 授業中に友達の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを発表したりして いる。				
■ 授業改善、学び合いの充実が図られているか。				
(16) 諸検査の状況				
令和6年度全国学力・学習状況調査(全国比・秋田県比)				
	国語	算数		
本校	70	60		
秋田県	73	65		
全国	67.7	63.4		
学習活動の様子				
★ペアや小グループで考えを交流 ノートやタブレットにまとめた考えを伝え合う。				
★児童の実態に合わせた学び合いの形態 グループでの話し合いで意見交流が活発に。				

イ 学校運営の状況

V 教育課程・教育環境

学校の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント		
教育課程と教育環境の充実に向かって、チーム早口として組織的、主体的に取り組んでいる。	前期	良好	良好	ふるさとキャリア教育を軸とした教育活動の充実が図られ、他校児童・生徒の参加や保護者・地域の協力も良好で評価も高い。先生方の職場環境としても良好であり、きわめて良好の評価に近い。後半の行事も協働体制の取組を大事にして子どもの成長につなげてほしい。		
	年度					
善学校評価の概要と学校の改	【前期(一年度)】〇児童一人一人が主体性をもって活動する「早口川の徒渡り」を目指して、「羽州街道の旅」～「学習会」～PR活動と活動を積み重ねた。本番は他校生を交えての実施となったことで、更に意識を高めて行うことができた。当日は悪天候であったが、保護者らの熱い思いもあり、関所等の設置、川沿いを歩く等ができた。さつまいもの苗植えでも5年生を中心に保小連携を図って全校児童で関わり合って活動することができた。→今後も活動の仕方を模索しながら、ふるさとキャリア教育の充実に向けた実践を重ねたい。 〇毎日の管理教室の点検と毎月1回の安全点検を通し、児童が安全に過ごすことができるように努めてきた。今年度、第1要望事項として教育委員会に上げていた2・3階ベランダの縁部分を修繕していただいた。複式学級の教室整備としては、児童の実態や教科の特性に応じてよりよい学習が提供できるよう、教室内を仕切るパーテーションを購入し、2学年同じ教室で学習したり、別々の教室で学習したりするなど学習環境を工夫してきた。→安全点検を継続するとともに、全職員が危機管理意識をもって取り組んでいく。複式学級については、今後も必要な備品や教室環境を整えていきたい。 【年度(一次年度)】					
評価指標		実践課題		主な取組	学校評価B	
					前期	年度
9 特色ある学校づくり	(17) 特色ある教育課程の編成と実施			「自尊・自立・貢献」を核としたふるさとキャリア教育の充実、特色を生かし効果的に教育課程を実施するカリキュラムマネジメント	4	
10 教育環境の充実	(18) 施設設備・環境の整備			定期的な施設・設備の点検 学習環境の整備 予算の有効活用	4	

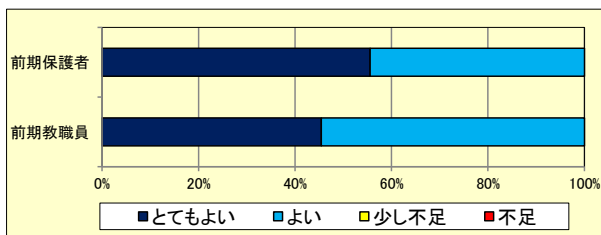
★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(17) 特色ある教育課程の編成と実施

□ 学校は、はつらつ元気農園活動の継続や徒渡りなどの「はつらつプロジェクト」を通して、特色あるふるさとキャリア教育を進めていると思うか。

■ 「自尊・自立・貢献」を核としたふるさとキャリア教育などの教育課程の編成と実施により、特色ある学校づくりを行っているか。

(17)



★ 特色ある学校づくり
はつらつ元気農園活動の継続や徒渡りなどの「はつらつプロジェクト」を通して、特色あるふるさとキャリア教育を進めていると思うか。



★【早口川の徒渡り】に関連して】

矢立峠を散策した「羽州街道の旅」～31年の歴史を振り返った「徒渡り学習会」～山瀬小・田代中でのPR活動～と活動をつなげて32回目の徒渡りを行うことができた。川沿いを歩く徒渡りとなったが、保護者の大きな力添えのおかげで挙行することができた。



(18) 定期的な施設設備の点検 学習環境の整備

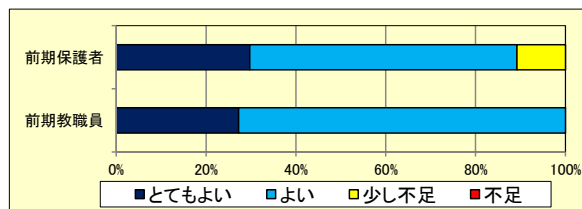
□ 学校の周りや校内の施設・設備、学習環境は安全に整備されているか。

■ 定期的な施設設備の点検と補修・環境整備、予算の有効活用が図られているか。

★ 2・3階ベランダ縁部分の修繕



★ 複式学級の教室整備



★ プールトイレ男女兼用解消と簡易水洗化

男女兼用また、汲み取り式トイレなので、使用しにくい状況である。間仕切りの設置や簡易水洗化を教育委員会に要望中である。

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

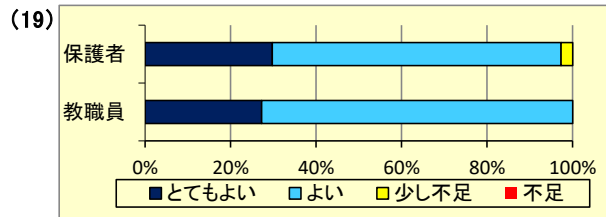
学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを分かりやすく保護者や地域に伝えており、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 良好	良好	保護者、地域の方々との協力的な連携により、学校運営が推進されている。常会からの寄付金の支援もありがたい。個別の対応により、理解が必要と感じる保護者との対応をとることができている。丁寧な説明や対応を今後とも継続してほしい。
策 学校評価の概要と学校の改善	年度		【前期(一年度)】○学校報の定期的な地域配付やホームページ、ブログの更新等で、学校行事や子どもたちの様子を保護者や地域にお知らせしている。また、各学年のお便りで学級での子どもたちの学習面や生活面の様子を保護者に伝えている。その他連絡帳や電話を使って、保護者と連携を図っている。さらに保健だよりを活用し、子どもたちの健康面についても情報を提供し保護者と連携した取組ができるように努めている。→保護者のアンケートでは、不足は2名いる。個別に丁寧に対応したい。昨年の、やや不足が2割近くから1割未満に減少している。これまでに以上に情報交換を密に行い、家庭との連携を図っていききたい。 ○学校運営協議会が発足し2年目、4月に熟議を行うなど課題や強みを踏まえて学校運営をスタートすることができた。PTA、地域ボランティアについては、コロナ禍以前に近い実施ができている。クラブ活動の田代太鼓、民謡、大正琴は昨年度と同様に外部の方を講師にお招きし、指導していただいている。→2学期以降の学校行事についても、学校運営協議会のご意見を大切にしながら、本校の強みを生かし、子どもたちの元気を地域に発信できるよう地域のお力をお借りする連携を進めたい。 【年度(一次年度)】

	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 後期
11 地域・家庭との連携	(19) 家庭・地域への情報発信・受信・相互理解	学校報の家庭・地区配布 ホームページ・ブログ更新 各種通信 情報発信による「チーム早口」啓発活動	4
	(20) 学校評価の計画的実施と充実	PDCAサイクルの機能化 学校評価アンケートの活用 学校評価だより・評価書の家庭・地域への開示(HP)	4
12 地域の教育力の活用	(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用	PTA・保護者ボランティア・クラブ活動指導者との連携 学校運営協議会の活用	4

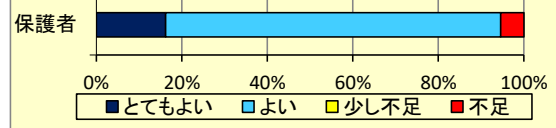
★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(19)家庭・地域への情報受発信・相互理解

- 学校報、学年だより、学校HPやブログなどは、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えていると思うか。
- 学校報・各種通信の配付、HP・ブログ等での情報受発信による「チーム早口」啓発活動により、教育活動が分かりやすく伝えられているか。

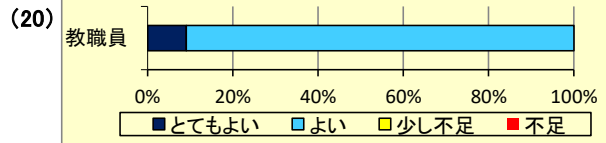


- 学校は、連絡帳や個人面談、その他の情報交換により、保護者との連携を行っていると思うか。



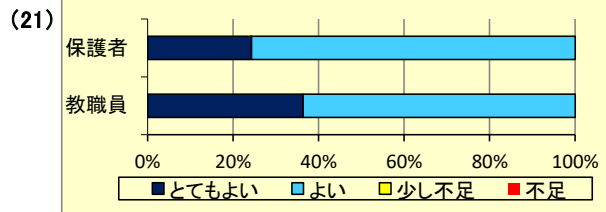
(20) 学校評価の計画的実施と充実

- 学校評価アンケート活用 学校評価だより・評価書の配付が計画的に行われているか。



(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用

- 学校は、PTA活動や様々な行事、各教科学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思うか。
- PTA・地域ボランティア・クラブ活動指導者との連携や、学校運営協議会を生かした家庭・地域との連携、地域学校協働本部・田代学校協働会議を活用しているか。



★サツマイモの苗植え作業

JAあきた北田代支店の皆様、婦人部、青年部の皆様のお力をお借りして、保小連携でたしる保育園児の参加も加え今年度も300本のサツマイモの苗を植えることができた。



★ドリームライブラリー読み聞かせ

今年度も、定期的に地域の方が子どもたちに読み聞かせをしてくださっている。



★第1回学校運営協議会

自己紹介に続き、委員と教員で熟議を行い、本校の強みと課題を共通理解した。

